

## 第13回全日本スプリントオリエンテーリング大会運営準備において発生した 競技に関する情報の流出に関する報告とお詫び

2020年8月30日

文責：第13回全日本スプリントオリエンテーリング大会実行委員会実行委員長  
瀬川出

この度第13回全日本スプリントオリエンテーリング大会(以下「本大会」と表記)の準備にあたり以下に示す問題が発生し、競技の公平性に影響があると判断したため、本報告にて皆様に情報を共有させていただきます。

### ● 発生した問題

試走時にあるコースのGPS記録が運営者のStravaアカウントで全てのStravaユーザーに公開された状態でした。

当該運営者のStravaアカウントを閲覧した方からの連絡により本問題が発覚いたしました。

公開されていた期間は8/2の12時ごろから8/11の11時ごろまでです。

### ● 本問題による影響

競技情報が運営者外に流出し、競技の公平性を担保できない状況となりました。

### ● 本問題の発生原因

当該運営者がGPS搭載腕時計を使用した試走経験がなく情報流出の危険性についての意識が不足していたこと(特に自身の端末からアップロードされたGPS記録がどのSNSに配信されているかの確認が不足していた)、また運営者全体に対する注意事項の周知が不十分だったことが原因と判断しております。

### ● 本大会運営における今後の対応

本大会へ参加される方に対する公平性を維持するため、今回公開されていた情報を本大会ホームページにて本報告書公開後1週間以内に掲載いたします。

別紙にて記載の通り光が丘地区での2020年度の開催は見送りとなりましたが、来年度以降の開催を検討しており、開催が決定した際には公開されていたクラスについてコースの再作成を実施いたします。

### ● 再発防止について

試走におけるGPS搭載腕時計の取り扱い、及びSNS（Stravaに限らず）の特性などの注意事項が運営者内で十分に共有されていなかったことが、本問題の根本的な原因であると考えています。

これらの原因に対して、具体的な再発防止策を運営役員及び関係者にてガイドラインの改善などを含めて検討・立案をしていきます。再発防止策につきましては、後日改めて詳細を報告いたします。

### ● 最後に

今回の問題は本大会にご参加いただく皆様の信頼を失いかねない重要な問題であると認識しています。本大会への出場を目指し日々努力を重ねられている競技者の皆様、及び本大会にご期待いただいている皆様に対して、多大なご迷惑とご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

上述の通り、光が丘地区での本年度内の開催は見送りいたしますが、年度内開催を模索している代替大会、ならびに来年度以降の同地区での開催が決定した際には皆様に満足いただける大会となるよう運営者一丸となって取り組んでまいりますので、本大会へ足を運んでいただけると幸いです。

- お問い合わせ

本問題に関するお問い合わせは下記連絡先までご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

2020年度全日本スプリント大会実行委員会

[jsoc2020.official@gmail.com](mailto:jsoc2020.official@gmail.com)

- 補足事項<Stravaについて>

ランニングなどのトレーニングを記録するためのウェブアプリケーションです。

連携したGPS搭載デバイスを使って記録したトレーニングのルートを共有する機能を有します。

自動でライフログがアップロードされる設定もあるため、扱いには注意が必要です。

参考ホームページ

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.strava&hl=ja>

以上